

移行期の家族を支える —離婚・再婚を経験する家族への支援

日時 : 2018年 10月6日(土)

15:00~17:00

場所 : 東京未来大学 みらいホール
東武スカイツリーライン「堀切」駅より徒歩2分

参加費 : 無料(公開講座)

講師 : 小田切 紀子氏

東京国際大学人間社会学部教授

申込方法: 事前にEmailにてお申込み

【Email】 imsar@tokyomirai.jp

ご所属名・お名前・ご連絡先・参加人数をお知らせください

【締切】10月3日(水)

事前申込をされていなくても当日のご参加が可能です。多くの皆様のご来場をお待ちしています。

[講演概要]

日本では結婚するカップルのおよそ3分の1が離婚し、再婚するカップルのおよそ4分の1は、夫婦のどちらか、あるいは夫婦ともに再婚である。また離婚するカップルの約60%に未成年の子どもがいるが、日本は離婚後、単独親権のため母親が親権者となり子どもと暮らすケースが圧倒的に多い。離婚後の単独親権制度を導入しているのは、先進国では日本だけであり、この単独親権と日本特有の家族観が、親の離婚・再婚後の子どもと別居親との面会交流の実施率の低さと、母子家庭の貧困問題の一因となっている。講演では、日本の家族観を概観し、離婚・再婚という移行期の家族を支えるために必要なことについて子どもの視点からお話したい。

[主催・問い合わせ先]

東京未来大学 モチベーション研究所 〒120-0023 東京都足立区曙町34-12
フォーラム担当 (TEL)03-5813-2525 imsar@tokyomirai.jp

